

2010年5月13日

2010年3月期 (第37期) 決算IR説明会

株式会社メイテック

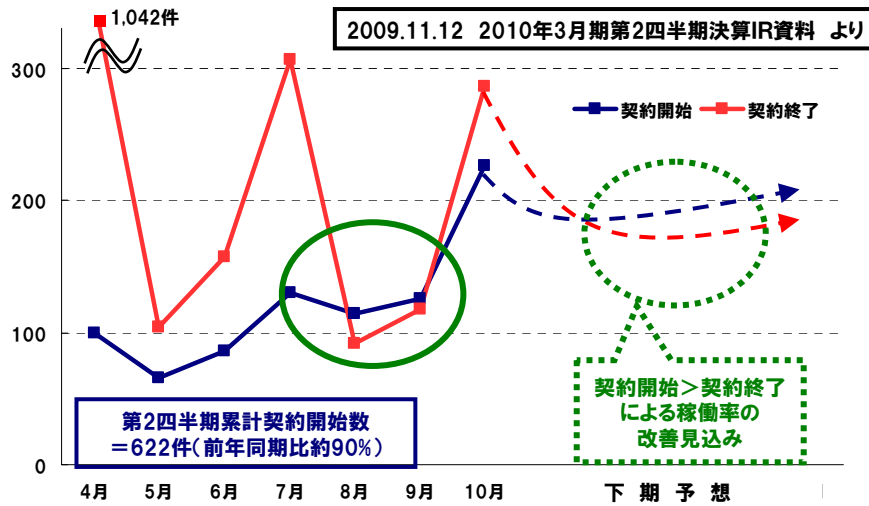
〒107-0052

東京都港区赤坂 8-5-26 赤坂DSビル

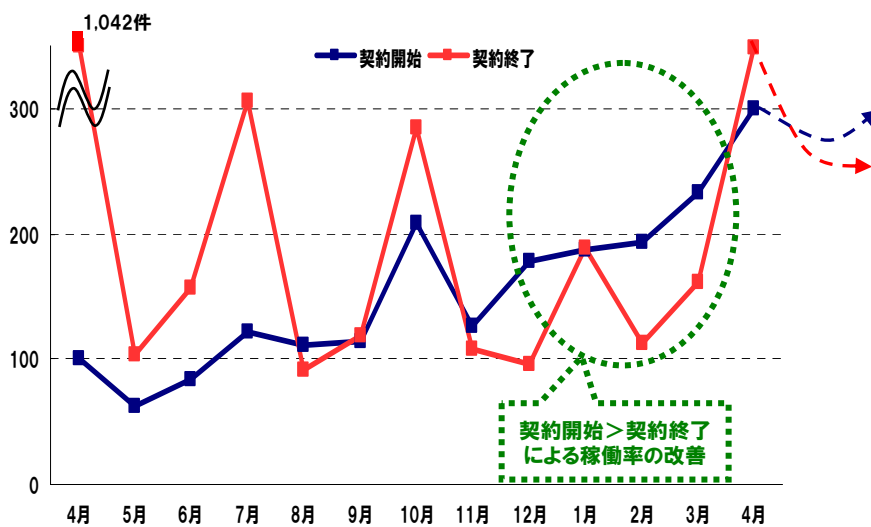
TEL 03-5413-2800 FAX 03-5413-2656

URL : <http://www.meitec.co.jp>

< 契約実績推移【MT単体】：2010年3月期 第2四半期累計 > (想定したシナリオ)



< 契約実績推移【MT単体】：2010年3月期 >



< 「底」からの改善状況 >

MT単体	2009年8月度 (底)	2010年3月度	改善度
全社稼働率	67.1%	78.6%	+ 11.5
稼働時間	8.12h/日	8.86h/日	+ 0.74

6

< 市況の概況：2010年3月期下期 >

1. メイテックグループの主要顧客である製造業全体の状況

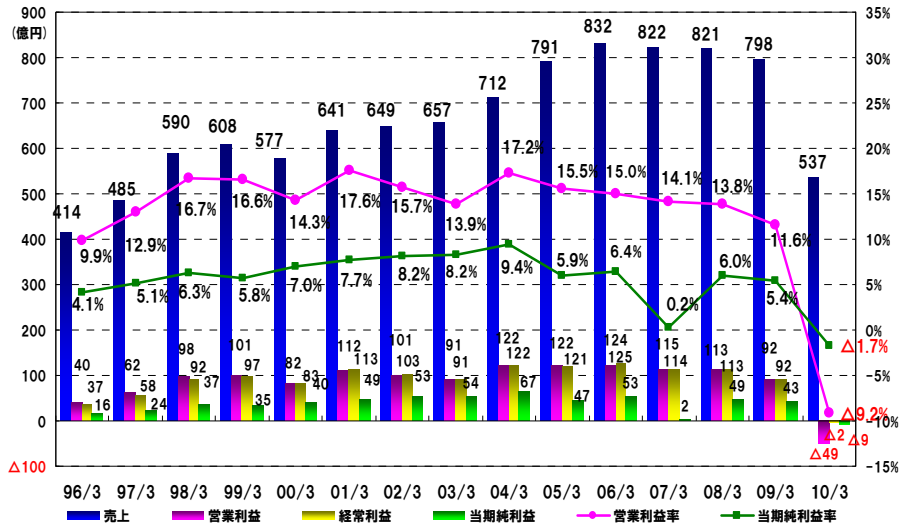
- ・ 当社の主要顧客である日本の大手製造業各社の業績回復が、緩やかではあるが、堅調に進んできた。しかしながら、依然として企業間格差、あるいは企業内事業部門格差が大きいのが実状であり、製造業全体の力強い回復には至っていない。
- ・ 依然として、コスト削減の動向が強い。また、事業の撤退・縮小を継続している顧客企業も多い。

2. 本業(技術者派遣事業)の概況

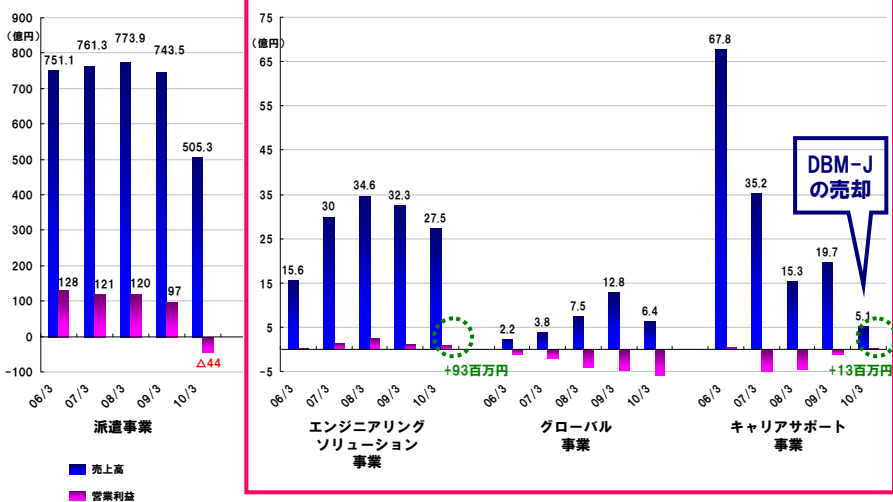
- ・ 昨年10月度以降、業績回復スピードの速い顧客から、順次、本格的なリバウンド受注が増加してきたことから、稼働率が徐々に向上してきた。
- ・ 同時に、稼働時間も想定を超えて上がってきた。

7

<業績推移【連結】：2010年3月期>



<メイテックグループの4事業：2010年3月期>



<グループ各社実績：2010年3月期>

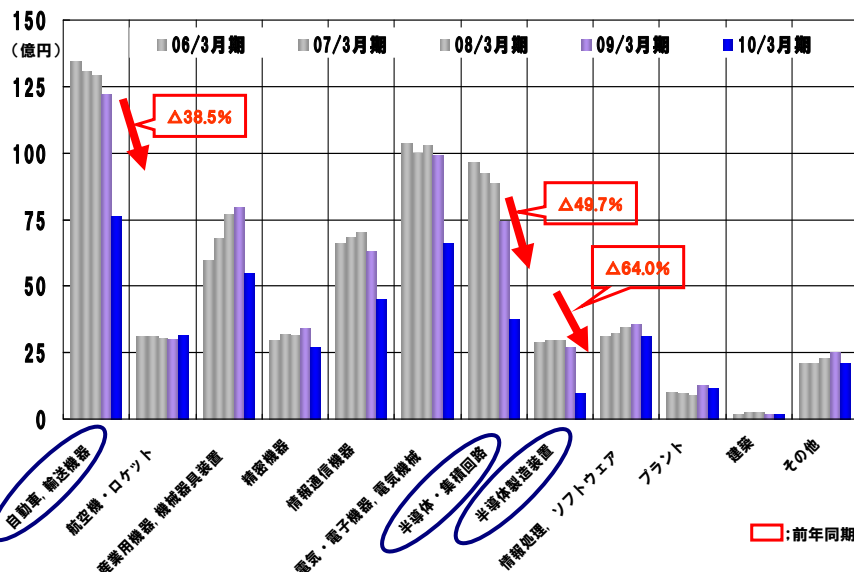
		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
派遣事業	メイトック	41,319	△ 2,964	822	53
	メイトックフィルダース	7,050	△ 1,461	△ 618	△ 933
	メイトックキャスト	2,267	△ 32	△ 33	△ 38
	メイトックエクスパーツ	207	△ 4	△ 3	△ 4
E/S事業	メイトックCAE	1,167	152	152	84
	アポロ技研グループ	1,565	△ 51	11	56
グローバル事業	メイトックグローバルソリューションズ	555	△ 432	△ 158	△ 161
	メイトック上海	25	△ 13	△ 11	△ 13
	メイトック大連 ¹⁾	25	△ 25	△ 27	△ 31
	メイトック広州 ¹⁾	1	△ 17	△ 17	△ 16
	メイトック西安	9	△ 26	△ 25	△ 37
	メイトック成都	6	△ 37	△ 37	△ 42
	メイトック上海人才	21	△ 17	△ 18	△ 18
	メイトックネクスト	334	△ 14	△ 12	△ 14
C/S事業	all engineer.jp	13	△ 2	△ 2	△ 2
	ビー・エム・オー・エー ²⁾	173	23	16	235
	連結	53,776	△ 4,928	△ 276	△ 904

※E/S事業：エンジニアリングソリューション事業、C/S事業：キャリアサポート事業

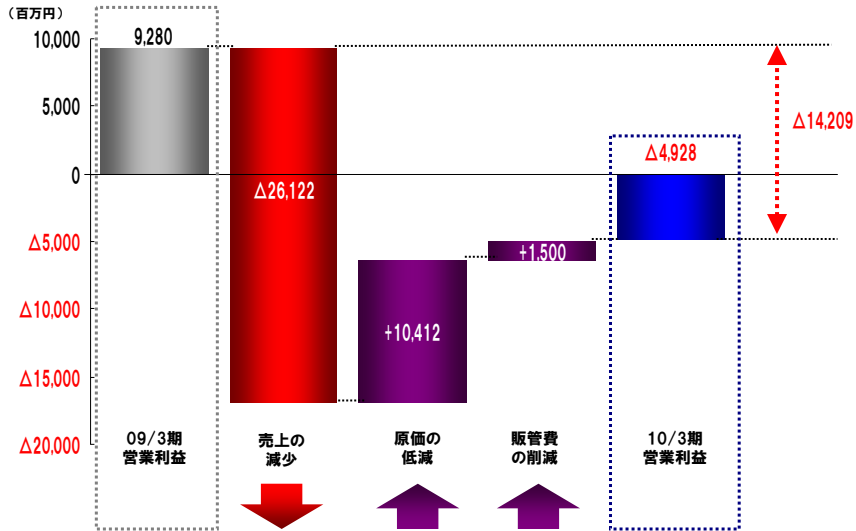
※連結相殺調整前

- * 1. メイトック大連及びメイトック広州については教育事業を休止しています
- * 2. 当該会社は、DBM-Jを譲渡（2009年5月1日付にてテンプスタッフ株式会社へ譲渡）する際に、過去から蓄積された相応の現預金等を譲渡対象から外すため新設分割しており、DBM-Jの2009年4月業績分を含みます

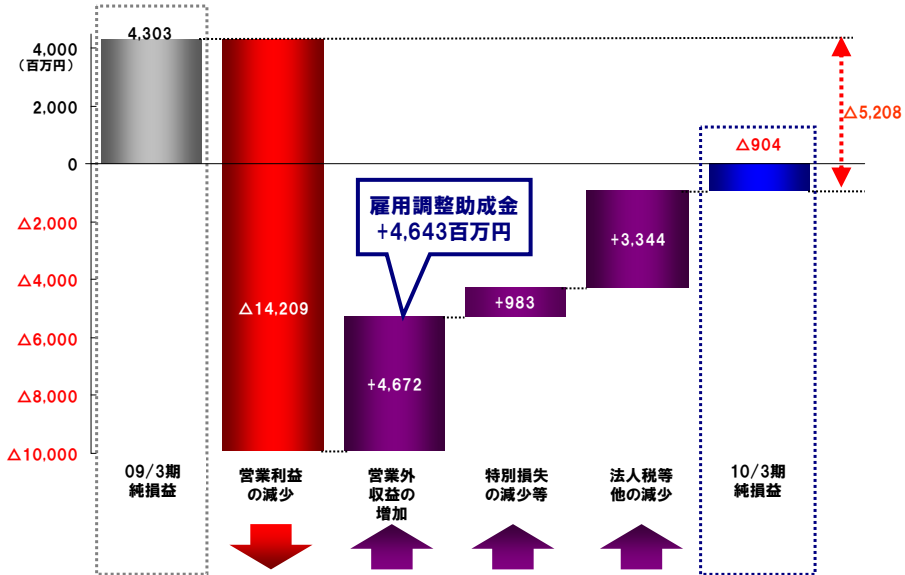
<セグメント別売上高推移【MT単体】：2010年3月期>

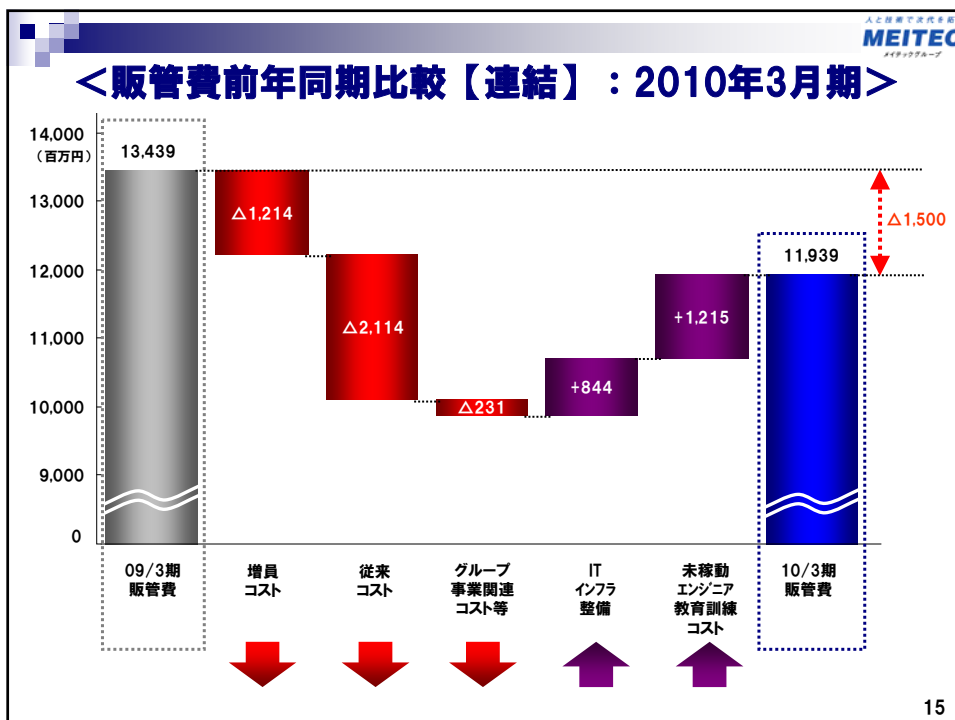
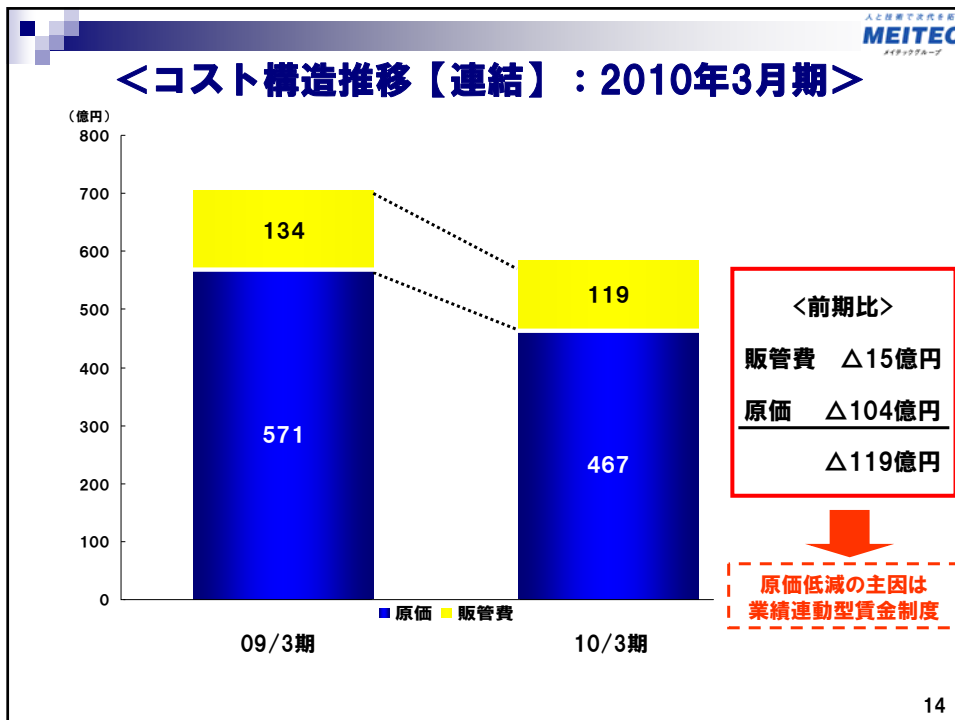


<営業損益前年同期比較【連結】：2010年3月期>

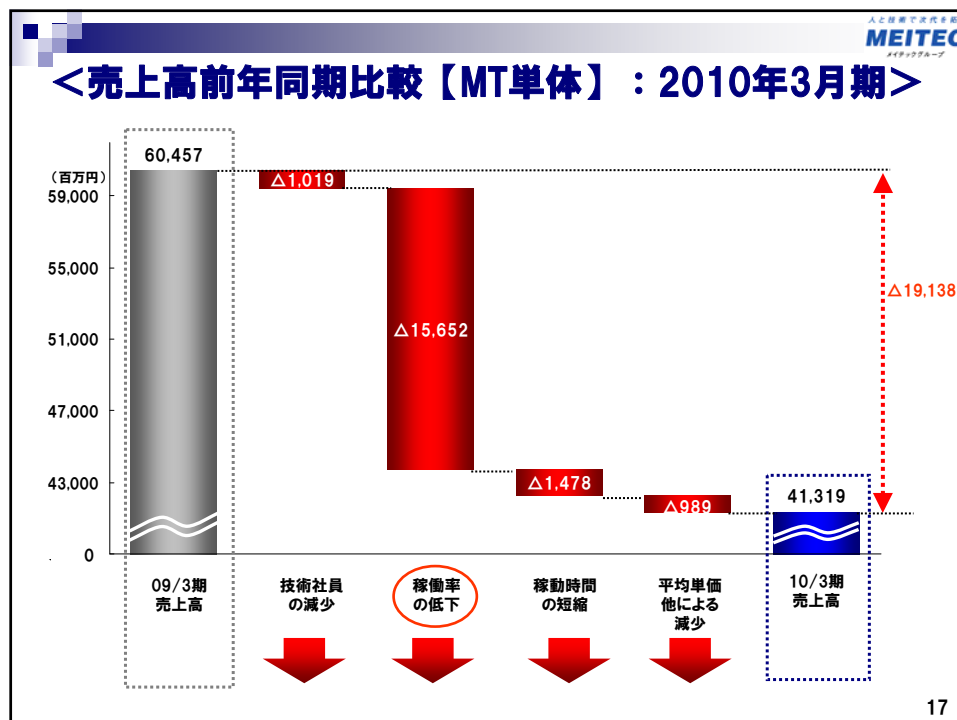


<当期純損益前年同期比較【連結】：2010年3月期>

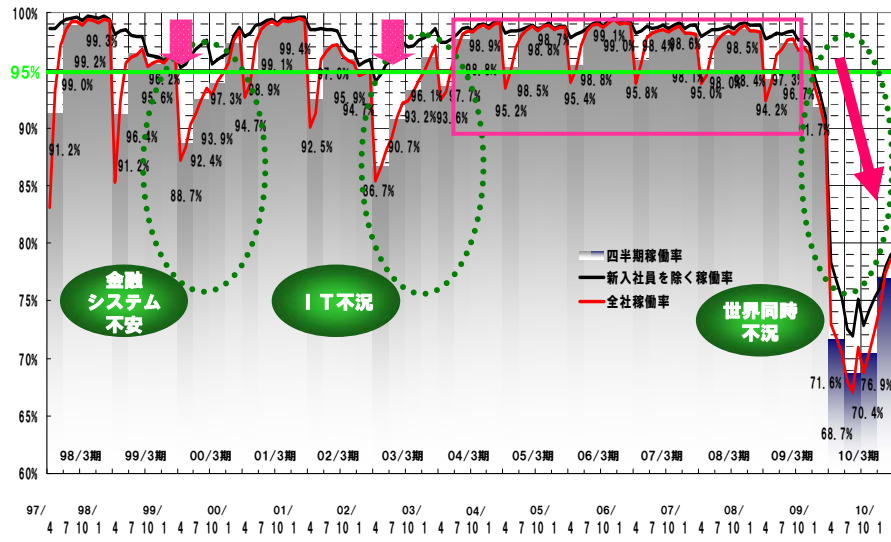




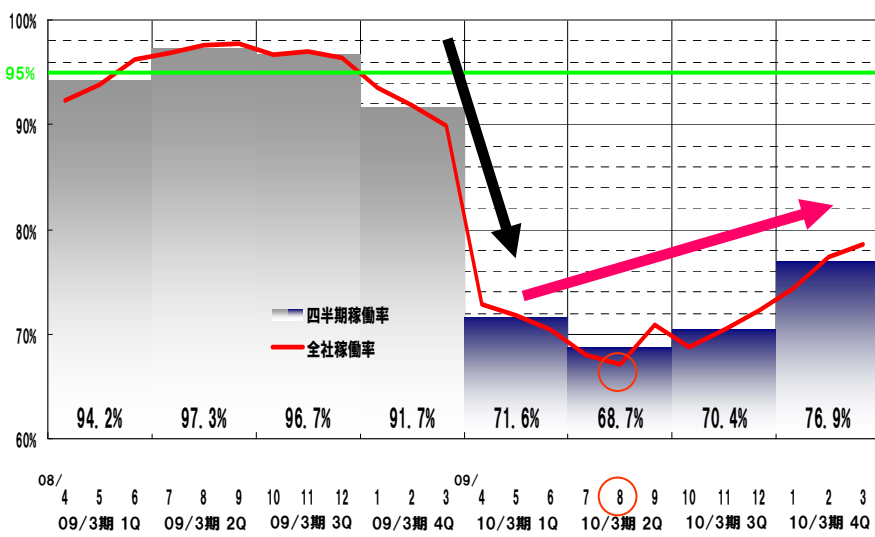
Ⅱ.単体業績の概況



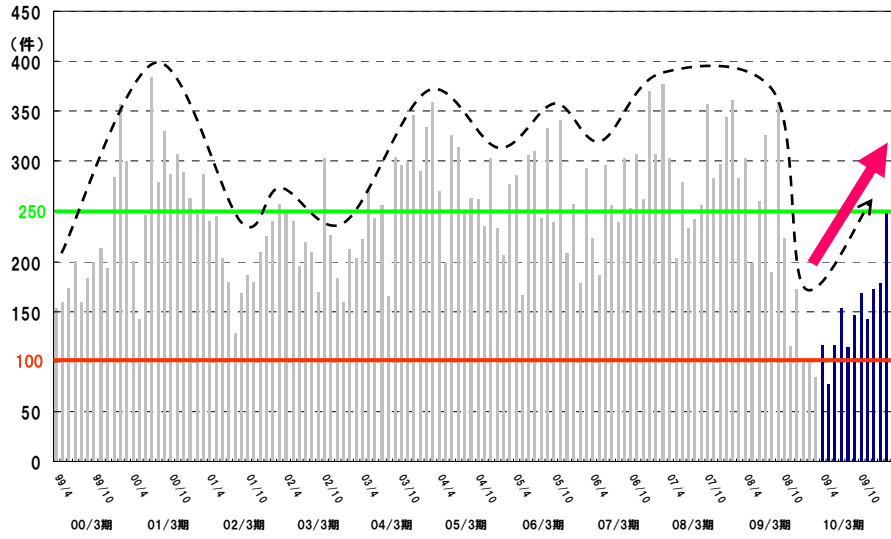
<稼働率推移【MT単体】>



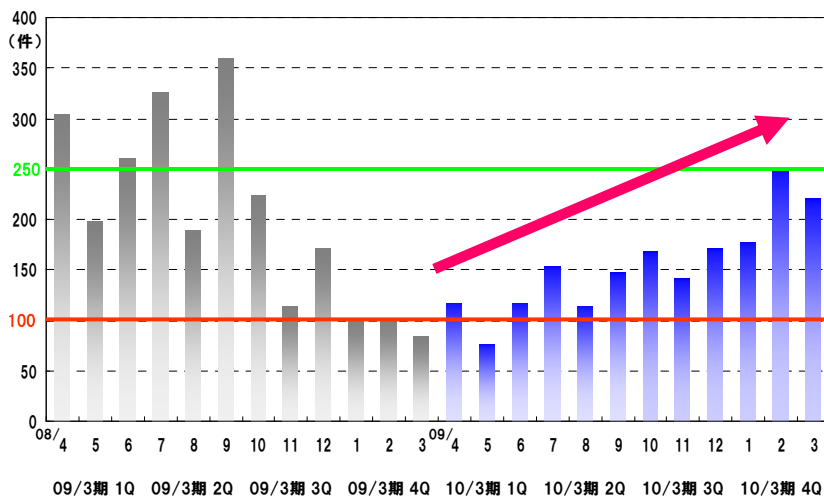
<稼働率推移【MT単体】08/4~>



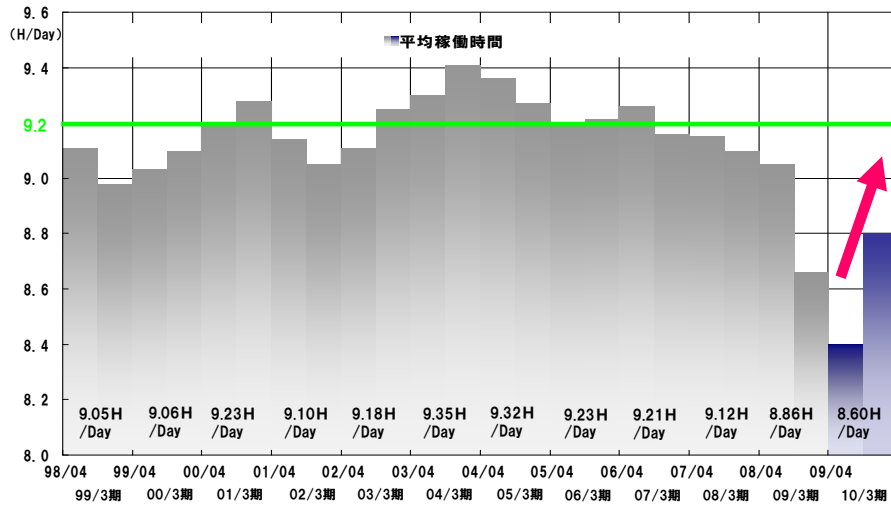
<月間新規受注推移【MT単体】>



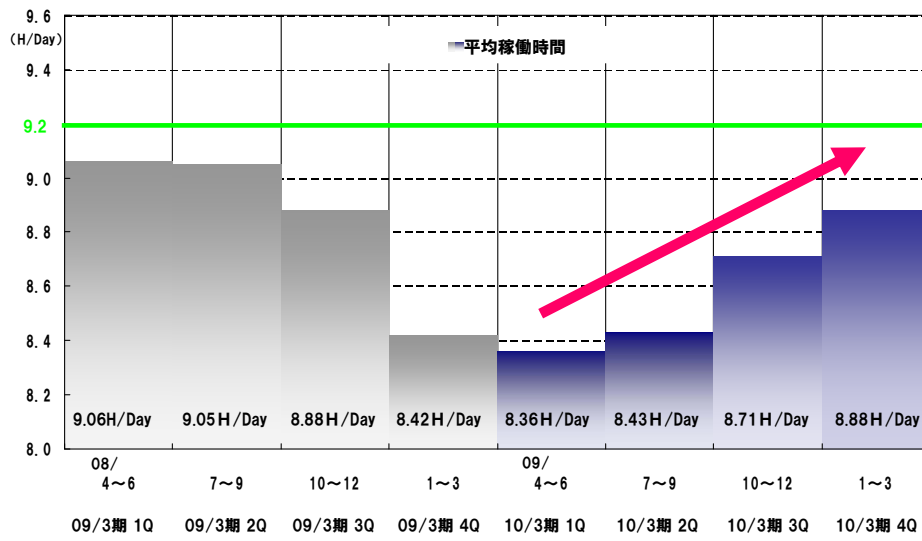
<月間新規受注推移【MT単体】08/4~>



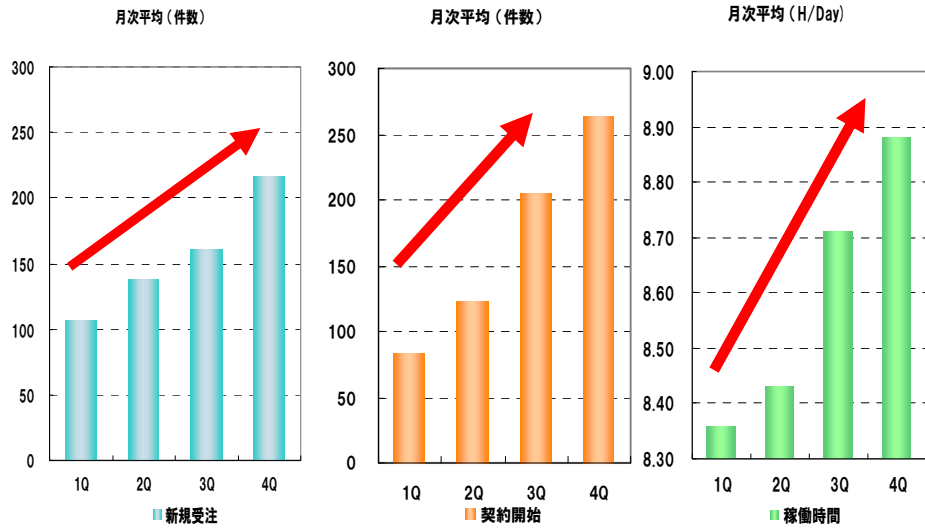
<稼働時間推移【MT単体】>



<稼働時間推移【MT単体】08/4~>



<【MT単体】：2010年3月期の推移> - 受注・契約・稼働時間 -



Ⅲ. 業績予想

＜経営方針と経営目標：2011年3月期＞

1. **グループ経営方針：「自立的な企業存続を達成する」**

→雇用調整助成金(公的資金)に依拠することなく、
事業継続ができる体制を構築する

2. **グループ経営目標：「通期営業黒字の達成」**

→メイテック単体・連結ともに通期営業黒字を達成する

*経営合理化施策(2010年2月23日公表):最大で28.8億円のコスト削減の取り組み

<2011年3月期の市況の想定>

1. 前年度下期からの流れで、製造業各社の業績回復が、緩やかながら持続する
2. したがって、メイテック単体の稼働率も、徐々に回復していく
ただし、急速な立ち上がりは期待しない
3. グループ各社の事業も、メイテック単体と同様の見通し

<業績予想：2011年3月期>

(百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結	第2四半期累計	27,000	0	1,800	1,000
	前期実績	26,203	△3,248	△850	△1,214
	対前期比増減率	3.0%	—	—	—
	通期	55,000	100	3,400	1,900
	前期実績	53,776	△4,928	△276	△904
	対前期比増減率	2.3%	—	—	—
単体	第2四半期累計	21,000	0	1,500	800
	前期実績	20,097	△1,931	109	31
	対前期比増減率	4.5%	—	1276.1%	2480.6%
	通期	43,000	0	2,800	1,600
	前期実績	41,319	△2,964	822	53
	対前期比増減率	4.1%	—	240.6%	2918.9%

<業績予想の注記①：2011年3月期>

- 2011年3月期におけるメイテックグループの経営方針は、「自立的な企業存続を達成する」こと、並びに経営目標を「通期営業黒字の達成（連結・単体・各社）」と定め、当該目標等を達成するために、経営合理化施策を労使合意に基づき実施しています
- なお、現時点の想定を超えて業績が伸長し、公表予想を上回る売上が確保される場合においても、営業利益が公表予想と同水準に着地する可能性があります
具体的には労使協議等を要する予定ですが、公表予想を上回る売上に伴い発現が見込まれる営業利益の上ブレ部分は、下記に記載の社員の賞与、賞金等の減額補填等へ優先して充当する予定です

経営合理化施策の内容及び費用削減効果見込額

(単位:億円)	費用削減効果見込額(年間)	
	連結	単体
役員報酬の減額・返上、監査役報酬の自主返上	0.4	0.4
執行役員・管理職(非組合員)賞金の減額	1.9	1.6
一般社員(組合員)の手当・賞与等の減額	26.5	16.5
合計	28.8	18.5

<業績予想の注記②：2011年3月期>

- 常時多数の技術者を雇用する当社グループは、引き続き当年度においても雇用調整助成金の受給を計画しています。上記公表予想値には32億円程度の助成金収入見込額を織り込んでいます

(単位:百万円)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (予想)
メイテック	3,466	2,750
メイテック フィルダース	839	440
メイテックグローバル ソリューションズ	275	0
アポロ技研Gr	61	10
連結	4,643	3,200

雇用調整助成金とは(厚生労働省ホームページから引用)

景気の変動、産業構造の変化その他の経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、その雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練又は出向をさせた場合に、休業、教育訓練又は出向に係る手当若しくは賞金等の一部を助成

当社グループでは、未稼働の技術社員を対象に、主に教育訓練助成を申請しています

<グループ各社予想：2011年3月期通期>

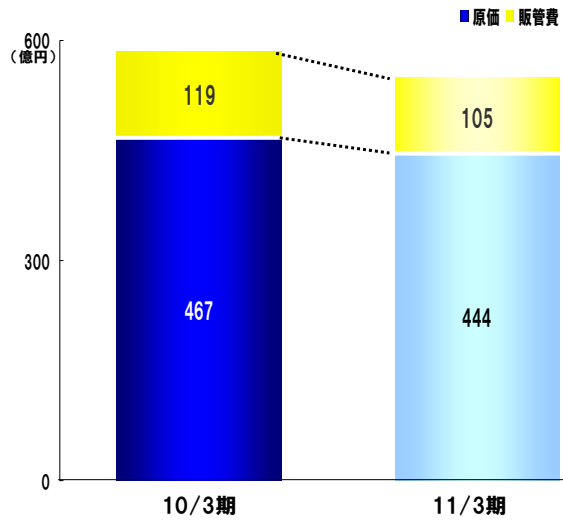
(単位：百万円)		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	メイテック	43,000	0	2,800	1,600
	メイテックフィルダース	7,000	0	450	300
	メイテックキャスト	2,400	5	5	0
	メイテックCAE	1,100	150	150	90
	アポロ技研グループ	1,700	50	60	50
	メイテックグローバルソリューションズ※1	200	10	10	10
	メイテック上海	25	0	0	0
	メイテック広州※2	15	0	0	0
	メイテック西安	10	△ 15	△ 15	△ 15
	メイテック成都	10	△ 25	△ 25	△ 25
	メイテック上海人才	60	0	0	0
	メイテックネクスト	300	0	0	0
	all engineer.jp	10	0	0	0

※1：当該会社は2010年4月1日付で、ブリッジエンジニア事業をメイテックへ会社分割により承継しております。
 ※2：メイテック広州については教育事業を休止し、職業紹介事業を実施しています。

<業績予想の前提条件【MT+MF】：2011年3月期>

		MT	MF
稼働率	上半期	76.7%	77.1%
	下半期	79.4%	80.8%
	通期	78.0%	78.9%
稼働時間	上半期	8.82h/day	8.89h/day
	下半期	8.79h/day	8.85h/day
	通期	8.80h/day	8.87h/day

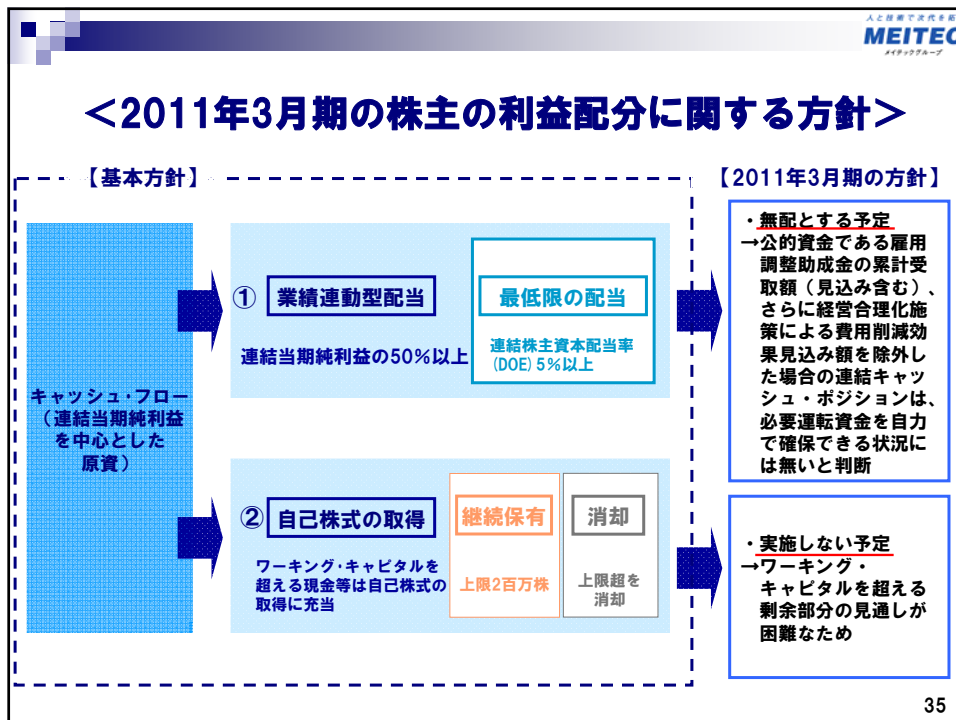
<コスト構造見通し【連結】：2011年3月期通期>



<前期比>	
販管費	△14億円
原価	△23億円
<hr/>	
	△37億円

内、28.8億円が経営合理化施策による削減効果

IV. 配当について



＜配当予想：2011年3月期＞

	1株あたり配当金				
	(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年間
当期予想 (2011年3月期)	/	0円00銭	/	0円00銭	0円00銭
前期実績 (2010年3月期)	/	24円50銭	/	0円00銭	24円50銭

・現時点では、雇用調整助成金および経営合理化施策による費用削減効果見込み額を除外した場合の連結キャッシュ・ポジションは、必要運転資金を自力で確保できる状況には無いと判断し、誠に遺憾ではありますが、2011年3月期の配当予想は無配とさせていただきます。

・但し、2011年3月期において、P.28「業績予想の注記」に記載した通り、社員の賞与、賞金等の減額補填等へ優先充当した後においても営業利益が確保できる場合は、当該営業利益に即した期末配当を検討する予定です。

<派遣法改正動向への対応>

派遣法改正 (5月13日現在、国会審議中)

<影響は受けないと想定>

■本業:技術者派遣事業(特定派遣事業)
※メイテック、メイテックフィルダース

<影響を受ける可能性(市場の縮小)>

■一般派遣事業
※メイテックキャスト
(2010年3月期売上/22億68百万円)
→2010年4月1日付にて、メイテックキャストと
メイテックエキスパーツ(シニアエンジニアの
一般派遣事業)を統合し、技術者派遣領域に
集中する戦略を推進する

37

<中国事業の戦略転換について>

1. ブリッジエンジニア事業

- 2010年4月1日付にて、メイテックに統合(約100名)

2. 中国現地事業

- 2010年3月期中に、教育事業拠点は5拠点から2拠点へ縮小
- 現地で育成したエンジニアを、中国現地の日系メーカーへの人材紹介事業に集中する。
 - * 2010年3月期実績:約100名
 - * 2011年3月期計画:200名

中国事業は、中国現地企業向けに転換する=「現地化」にシフト

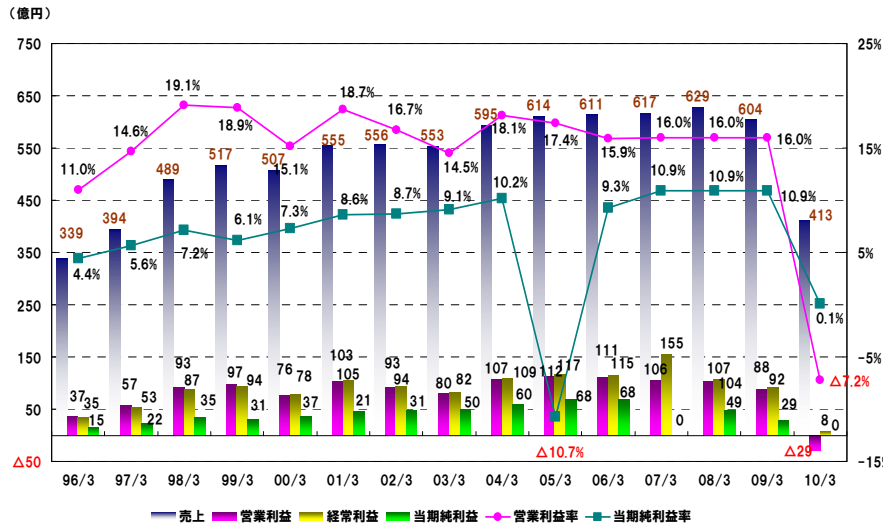
38

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

<業績推移【MT単体】：2010年3月期>



参考資料-1

<本業【技術者派遣事業】の概況：2010年3月期>

		MT+MF+MGS+CAE	MT+MF+MGS	MT	MF	MGS	CAE	
通期累計	稼働率(全体)	実績	-	70.0%	71.9%	74.8%	26.6%	-
		前期実績	-	92.8%	95.0%	96.3%	43.6%	-
	稼働時間	実績	-	-	8.60h/day	8.66h/day	7.95h/day	-
		前期実績	-	-	8.86h/day	8.90h/day	8.54h/day	-
期末技術社員数	実績	7,324名	7,237名	5,765名	1,360名	112名	87名	
	前期実績	7,612名	7,533名	5,788名	1,414名	331名	79名	

参考資料-2

<セグメント別売上高推移【MT単体】：2010年3月期>

(単位:百万円)

セグメント名	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	13,432	13,083	12,927	12,408	7,629	18.5%	△ 4,779	△38.5%
航空機・ロケット関連	3,090	3,086	3,056	3,029	3,156	7.6%	127	+4.2%
産業用機器、機械器具および装置関連	5,982	6,814	7,695	7,988	5,464	13.2%	△ 2,524	△31.6%
精密機器関連	2,963	3,194	3,151	3,411	2,711	6.6%	△ 700	△20.5%
情報通信機器関連	6,609	6,845	7,009	6,312	4,519	10.9%	△ 1,793	△28.4%
電気・電子機器、電気機械器具設計	10,333	9,993	10,324	9,860	6,624	16.0%	△ 3,236	△32.8%
半導体・集積回路関連	9,680	9,274	8,834	7,459	3,750	9.1%	△ 3,709	△49.7%
半導体製造装置関連	2,871	2,983	2,976	2,676	962	2.3%	△ 1,714	△64.0%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	3,105	3,227	3,467	3,510	3,100	7.5%	△ 410	△11.7%
プラント関連	999	937	936	1,274	1,118	2.7%	△ 156	△12.2%
建築関連	260	261	274	190	179	0.4%	△ 11	△5.5%
その他	2,095	2,092	2,302	2,335	2,106	5.1%	△ 229	△9.8%
合計	61,425	61,795	62,956	60,457	41,319	100.0%	△ 19,138	△31.7%

参考資料-3

<トップ10顧客売上高・比率推移【MT単体】：2010年3月期>

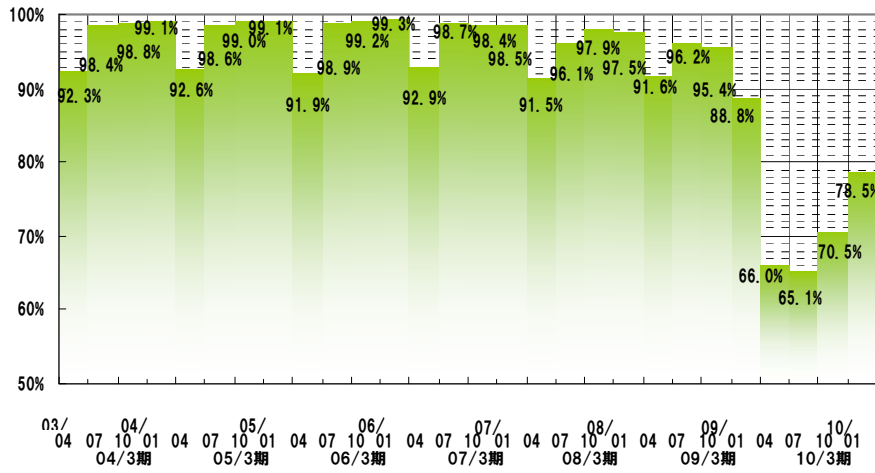
<5年前>

<現在> (百万円)

2005年3月期(32期)			2009年3月期(36期)			2010年3月期(37期)		
顧客企業名			顧客企業名			顧客企業名		
1	パナソニック 様		1	パナソニック 様		1	パナソニック 様	
2	ソニー 様		2	キヤノン 様		2	三菱重工業 様	
3	トヨタ自動車 様		3	ソニー 様		3	キヤノン 様	
4	キヤノン 様		4	三菱重工業 様		4	ソニー 様	
5	三菱重工業 様		5	デンソー 様		5	トヨタ自動車 様	
6	セイコーエプソン 様		6	ニコン 様		6	デンソー 様	
7	ニコン 様		7	オムロン 様		7	ニコン 様	
8	オムロン 様		8	トヨタ自動車 様		8	川崎重工業	
9	川崎重工業 様		9	セイコーエプソン 様		9	セイコーエプソン 様	
10	ソニーイーエムシーエス 様		10	矢崎部品 様		10	オムロン 様	
トップ10社合計	21,909	35.9%	トップ10社合計	20,610	34.1%	トップ10社合計	14,826	35.9%
トップ20社合計	29,050	47.5%	トップ20社合計	27,096	44.8%	トップ20社合計	19,281	46.7%
その他	32,059	52.5%	その他	33,361	55.2%	その他	22,039	53.3%
合計	61,109	100.0%	合計	60,457	100.0%	合計	41,319	100.0%

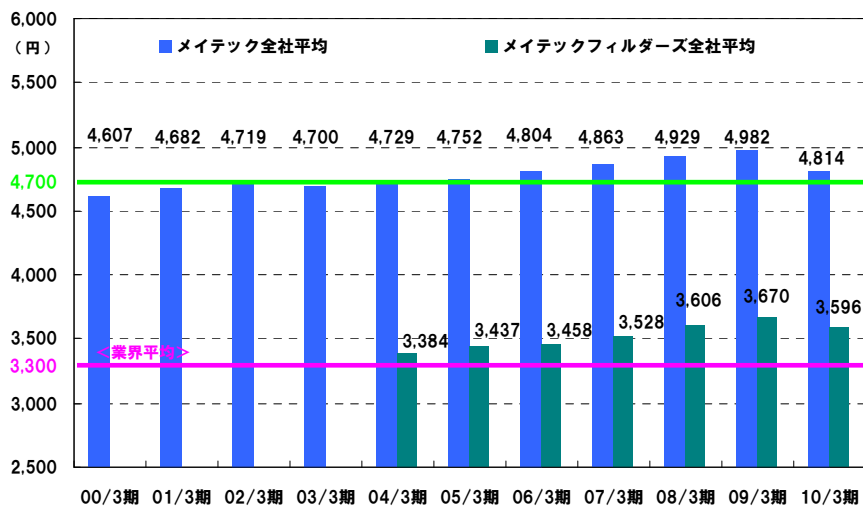
参考資料-4

<稼働率推移【MF】>



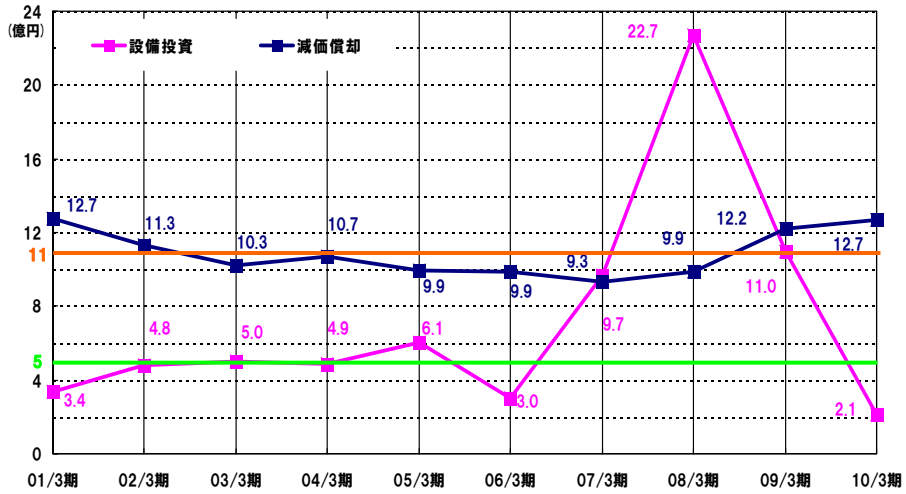
参考資料-5

<対価推移【MT・MF】>



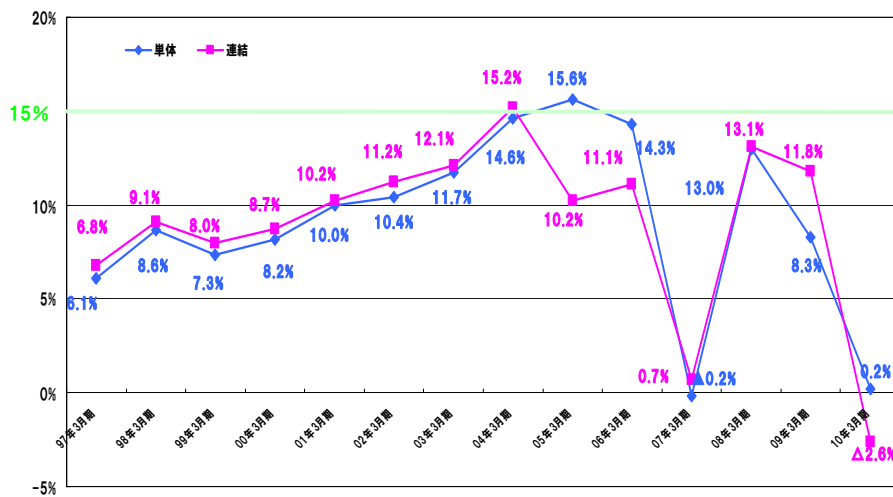
参考資料-6

<設備投資・減価償却費推移【メイトック単体】:2010年3月期>

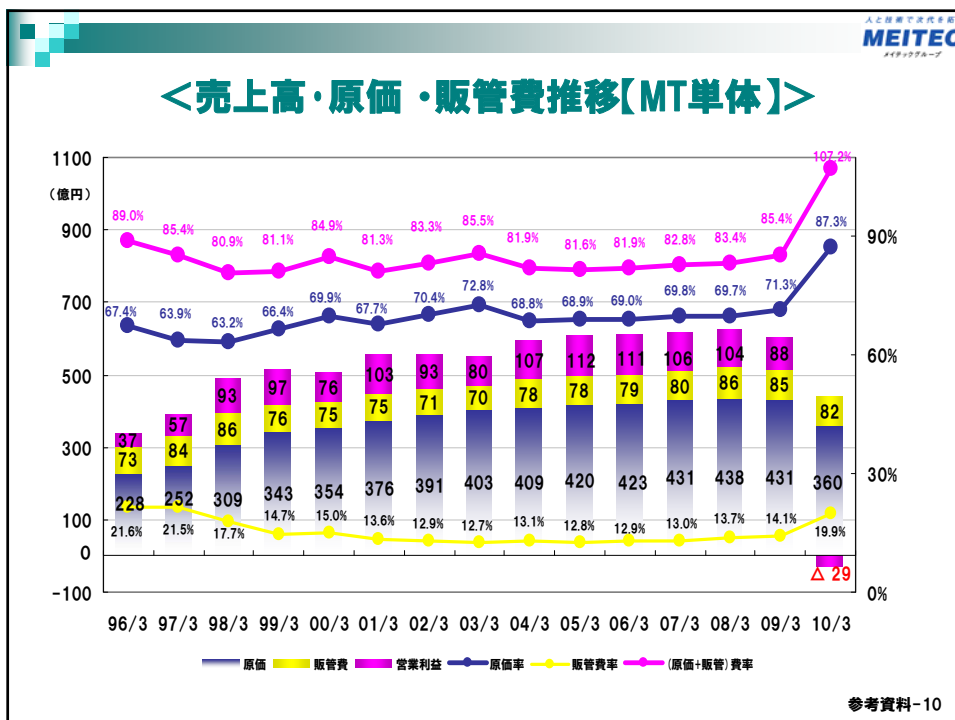
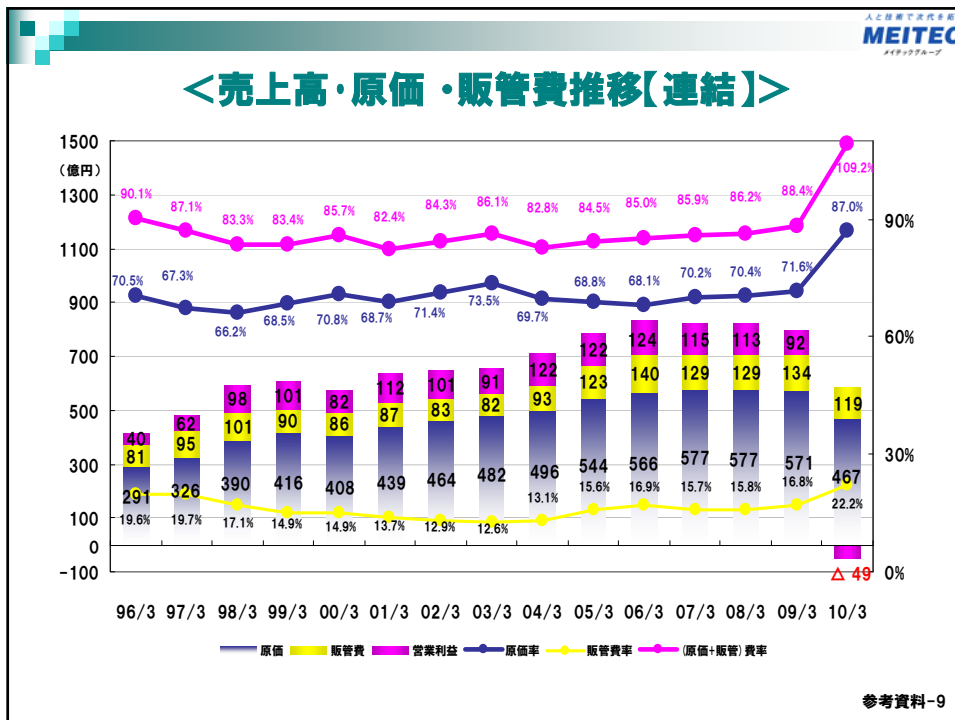


参考資料-7

<自己資本当期純利益率 (ROE) 推移>



参考資料-8



<株主セグメント別保有状況【MT単体】>

株主セグメント	2010年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	3	0.04%	1,137,401	3.24%
信託銀行	23	0.33%	5,947,700	16.95%
生保・損保会社	27	0.38%	4,541,183	12.94%
証券金融・その他金融会社	3	0.04%	3,660	0.01%
証券会社	30	0.42%	83,740	0.24%
事業会社・その他法人	119	1.69%	337,300	0.96%
外国法人・外国人	145	2.05%	17,287,179	49.25%
個人その他	6,709	95.04%	5,761,837	16.41%
合計	7,059	100.0%	35,100,000	100.0%